

藤枝の未来を拓く 子どもたちの育成に向けて

藤枝 はばたけ!ふるさとの誇りを担う子どもたち

古くから政治経済、教育、文化の中心の地として栄え、伝統を受け継いでいるこの地区で育った子どもたちが、ふるさとの誇りを担って羽ばたいてもらえるよう地域ぐるみで子どもの成長を支援していきます。



- 伝統行事「藤枝大祭り」等への参加
- 中学校区一体のあいさつ運動、見守り活動
- 合唱を通じた小中学生の交流等
- 郷土学習を通じた郷土愛の醸成

青島北 地域の中で力を伸ばし自分を活かす子

「自立・共生」に向けて、「あいさつ」を柱にという、青島中学校区と共通の取り組みに加え、中学校区ごとの特色ある取り組みも実施。自分らしさを発揮でき、地域に愛着を持ちながら世界に羽ばたく子を育てていきます。



- 自治会や交流センターと連携した地域交流活動の充実
- 合唱等を通じた小中学生の交流
- 様々な国籍の子どもたちに対する支援

大洲 大洲に誇りを持って未来を切り拓く子の育成

安定した地域力を基盤に、従来から取り組んできた学校と地域の連携をさらに発展させ、自己肯定感や思いやりの心を育て、心豊かな子どもを育成しています。



- ふれあい祭り等へのボランティア参加
- 地域に根ざした福祉教育
- 鑑賞教室や感動を共有する体験などの小中学生の共同学習
- ゲストティーチャーによる道徳授業の実施

西益津 ふるさと再発見!夢・希望につなげ

歴史・文化に学びながら、課題解決の方法を自ら見つけ、考え、実践していく温故知新の精神で子どもの育ちを支援しています。



- 西益津ブランド「探究学習」の実施
- 外国語等での中学校教員の兼任入れ授業
- 歌を通じた小中学生の交流
- 地域交流の場の拡大や小中学生のボランティア活動の奨励

高洲 見つけよう夢!育てよう心!

自ら考え、行動する体験や、人のため、地域のために行動することができる機会を作り、人のため地域のために自ら行動する子を育てています。



- 地域ぐるみでの「高洲すこやか3ヶ条」の実践
- 国際性を育む外国語教育の充実
- 小中学生のあいさつ運動を通じた交流活動
- 郷土の偉人である「石上清兵衛」を模範としたボランティア活動

青島 笑顔輝く青島の子、伸び行く青島の郷

「自立・共生」に向けて、「あいさつ」を柱にという、青島北中学校区と共通の取り組みに加え、中学校区ごとの特色ある取り組みも実施。子ども一人ひとりの個性が輝き、将来の地域を担う子どもの育ちを応援していきます。



- 青島地区一体のあいさつ運動、見守り活動
- 9年間を見通したキャリア教育の推進
- 交流センターと連携した「学習塾」の開放
- 中学生等による読み聞かせ

瀬戸谷 郷土愛に満ちた夢あふれるせとやっ子の育成

小規模校ならではの良さを生かし、様々な体験や交流を通し、子どもの可能性を引き出し、伸ばす、そして地域ぐるみの9年間の教育を通して郷土への愛着を感じると共に世界的視野をもって、地域を担う人材の育成を進めています。



- 小学校高学年が週1回中学校登校
- 中学生が小学校へ里帰り
- 地域の歴史、伝統、文化に触れる体験
- 小中学校合同体育祭等における小中学生や地域の人との交流

広幡 一歩歩み出せ!広幡の子

地域力を生かした様々な体験や交流を通し、互いに支え合い、思いやりあふれる人間関係づくりに努め、一人ひとりの可能性を引き出し、自信を持って将来に向かって一歩踏み出す(自分らしく自身を表現できる)子を育てています。



- 言語活動等でのスピーチ、ディベートの実施
- 地域防災やふれあい祭り、スポーツフェスタ等への積極的な参加
- 小学生と中学生の異学年交流や三世代交流
- スカイク交流などを通じた外国語教育

葉梨 夢を拓き、たくましく生き抜く力を育む

夢を切り拓き、葉梨に留まらず世界で活躍するなど、変化が激しい社会の中でもたくましく生き抜く力を育てています。



- 夢づくりへの取り組みやキャリア教育の充実
- 「葉梨スタンダード」による教室環境や授業のユニバーサルデザイン化
- 「百人一首」に親しむ学習
- あいさつ運動、ノーメディア運動等で連携したPTA活動

岡部 自分大好き 友たち大好き おかべ大好き

「授業で人を育てる」を合言葉に教科の学びと「温かく聴く」ことを大切にするとともに、地域と連携しながら、地域ぐるみの教育に取り組み、自立心・郷土愛をもち仲間と共に歩む子どもを育成しています。



- 地域ぐるみでの「子育て12か条カレンダー」活用やノーメディアデーの実施
- メディアリテラシー教育の推進
- 朝比奈第一小学校と岡部小学校の交流
- 体験を通じた郷土の歴史・文化の理解



子どもたちの育ちと学びをつなぐ 藤枝市の小中一貫教育

10 中学校区すべてで取り組みが始まっています

義務教育の9年間をひとつのスパンと捉え、系統的な学習活動を展開する小中一貫教育が、市内すべての中学校区で始まっています。この小中一貫教育により、小学校から中学校への接続がスムーズになり、中学入学に対する不安の解消や学びの質の向上などが期待されています。

平成29年度に瀬戸谷中学校区を皮切りに始まった、小中一貫教育の取り組みは令和3年度までに10中学校区のすべてでスタートしています。小中学校の教育をスムーズにつなぎ9年間を通して教育を実践する「縦のつながり」と「コミュニティ・スクール」を活用し、地域ぐるみで子どもを育てる「横のつながり」の2つの軸を持つのが藤枝市の「小中一貫教育」の特色です。

特に、横のつながりでは、家庭・地域・学校の三者が連携・協働する「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を導入し、地域ぐるみで子どもの成長を支援しています。また、「コミュニティ・スクールの円滑な運営のために学校運営協議会を各中学校区に設置し、三者をつなぐパイプ役として「コミュニティ・スクール」ディレクターを配置しています。時代と共に学校の在り方や教育が見直されつつある今、「藤枝の未来を拓く子どもたちを共に育てる」藤枝型の教育が確立されています。

「縦のつながり」と「横のつながり」

瀬戸谷中学校区では、小中一貫教育を早くから導入



し、「縦のつながり」と「横のつながり」を大切にしたり取り組みを行っています。縦のつながりでは、中学校での生活を体験してもらおうと、瀬戸谷小学校の高学年が週一回瀬戸谷中学校に登校し授業を受けています。新5年生が初めて中学校を訪れた今年5月、「中学校の教室には初めて入った。緊張するけど楽しみ。」や「いろいろなことを勉強したいし、友だちもたくさん作りたい。」などの声がありました。この日は、先輩の中学生が校内を案内しました。新5年生は将来通うことになる中学校の様子に興味津々な様子でした。このような小中学校の交流は、毎年行われる小中合同体育祭でも見られます。小中学生の全員が縦割り団となり、結団式や合同練習をすることで年齢差を超えた協調性などが育まれています。また、「横のつながり」では、農業体験を主に行う「ふれあい隊」や伝統的な藤枝太鼓を演奏する「和太鼓実演隊」などの活動を中学校の総合的な学習の時間に行っています。地域の方の指導を受け、藤の瀬会館で定期的に開催されるイベント「瀬戸谷まるかじり」などで学習の成果を発表するなど、郷土愛や地域との連携を深めています。